

アスベストリスクを学ぶ学習会

日時 2019年1月27日
14:00 開始 17:00 終了

報告

アスベストとは何か？その危険性について

外山 尚紀 (東京労働安全衛生センター)

築地でのアスベスト対策

永倉 冬史 (中皮腫・じん肺・アスベストセンター)

震災とアスベスト

中地 重晴 (熊本学園大学)

ワークショップ

目でみるアスベスト

榊原 洋子 (愛知教育大学)

会場 守口市中部コミュニティセンター

大阪府守口市京阪本通2-5-5

守口市役所地下1階

電話 06-6991-0318

参加費

無料

特定非営利活動法人

東京労働安全衛生センター

問い合わせ 電話 03-3683-9765

メール center02@toshc.org

アスベスト(石綿)って何？吸い込むと長い潜伏期間を経て、中皮腫や肺がんなどの重い病気を発症するおそれがあります。1960年代の高度経済成長期に建材などに大量に使用され始め、関連の製造工場や建設現場労働者だけでなく、工場周辺の住民にまで被害が及び、2017年には1555人が中皮腫により死亡しています。2012年に全面使用禁止となりましたが、すでに使用されていた大量のアスベスト含有建材が私たちの身の回りに残されています。今後、適切な解体工事が行われないとアスベストを飛散させ、作業者だけでなく、周辺住民なども吸い込んでしまう危険性があるのです。

アスベストのリスク(危険性)はあまり知られていません。アスベストを直接取り扱った人だけでなく、アスベストのある建物にいた人、アスベストの工場の周辺、そして震災後の被災地でアスベストを吸ってしまった人にまで被害が出ています。このような物質は他にはありません。アスベストは非常に危険で特別な管理が必要な物質なのです。講演ではアスベストのリスクについてわかりやすく解説します。またどのような対策が必要なのか、現在進行しているアスベスト関連の法改正の動向について報告と問題提起をおこないます。また震災とアスベストについて3つの大震災から考えます。

今回のワークショップでは、誰でも簡単にできるスマートフォンを利用して石綿を観る方法を紹介します。アスベストによる環境汚染や健康被害を防止するため、どのような対策が必要なのかを皆様と一緒に考えたいと思います。ご参加をお待ちしています。



アスベストのリスクを知る ための講演とワークショップ

●この催しは独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。